

令和6年度 デザイン伴走支援のQ&A

Q1 デザイン伴走支援（以下、伴走支援）はどうすれば受けられるのか、伴走支援を受けたいが手続きは？

A 伴走支援申込書を提出してください。

まずは、デザイン相談で課題等をお伺いし、伴走支援が必要かどうか確認させていただきます。

Q2 複数課題があるので、申込したい。

手間を省くため、1つの申込（書）に複数のテーマを書いて、伴走支援を受けたい複数テーマがあるので、2通の申込書を作成した。

A 申し訳ありませんが、今年度デザイン伴走支援は、①定数が3社であること、②限られた条件の中でできるだけ多くの企業にこの支援を活用してもらいたいことから、1社1テーマ（課題、案件）に限り申し込みを受け付けます。複数テーマの申込（書）や記載については、どれか一つに限って、支援いたします。

Q3 現状のままでは先細りなのでオリジナル商品の開発をしたいが、具体的な計画や案はまだない。これで伴走支援を申込できるか？

A 具体的な案が無い場合は、現状とこれからどうしたいのか、また自社の強み・技術などを申込書にお書きください。

何のために商品開発したいか、会社としてこれからどうしたいか、などから紐解き、SAITECが商品開発の方向性や何をすべきかの内容や手順などを貴社と一っしょに考えアドバイスしていきます。

Q4 伴走支援で外部デザイナーのアドバイスを受けたいが

A 必要な場合やより専門的な事項が必要な時などに実施します。毎回の実施はありません。伴走支援で行う外部デザイナーのアドバイスは1回限りです。

なお、このアドバイスは埼玉県内中小企業のみ、対象とします。

伴走支援以外では現場改善事業により別途有料で受けることができます。（埼玉県内中小企業のみ）

Q5 伴走支援で外部デザイナーのアドバイスを受ける時の手続きは？

A SAITEC職員とのディスカッションや支援を重ねたのちに、必要と判断された場合に実施します。

外部デザイナーのアドバイスを受けたいかどうかの確認をさせていただきます。

Q6 伴走支援にかかる費用は何か？

A 外部デザイナーのアドバイスを受ける場合は、伴走支援の受講料として 5,000 円が必要です。(納入され受講料は、減額、返金等はありません)

なお、外部デザイナーは試作等物を作ったり資料作成や書類作成等を行いません。

この支援が進む中で試作や資料作成、測定や分析、調査等が必要な場合は別途費用が必要ですが、これについては企業負担となりますのでご了承ください。

Q7 そもそも伴走支援は何をしてくれるのか

A 事業改善したい、会社の認知度向上や技術 PR をしたい、独自商品を作りたい、商品開発をどうやるのか、企画の進め方を学びたい、などの課題に対し実際に何から手をつけたら良いのかわからないことがあります。そのような企業を対象に、実際に製品づくりなどを始める前の段階を想定し、企業が何をしたいのか、自前の技術や設備は何か、いつまでに何をしたいか等、ワークシートを用いながら SAITEC が企業と一緒になって考え整理していき、商品開発の考え方、進め方などを、アドバイスする支援です。

Q8 伴走支援を途中でやめる場合はどうするのか

A 中止の旨、ご連絡ください。

ご連絡内容、中止の意思を確認させていただくことで、中止となります。

ただし、そこまでの報告書は必要です。

Q9 伴走支援が終わった後はどうなるのか

A 伴走支援終了後は、他の事業につないだり、希望によりデザイナーとのマッチングなどを実施します。

また、フォローアップ事業により企画を実現化することも検討してください。

昨年度のフォローアップ事業概要をホームページでご覧いただけます。次の URL を参照してください (R5 年度の概要)

https://www.pref.saitama.lg.jp/saitec/seminar/koshukai/r5/r5dj_follow.html

以上